

平成29年2月15日

浜田市議会議長 西田清久 様

議員名 原田義則



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため、視察を実施したので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成29年2月6日（月） 午前7時から
 平成29年2月8日（水） 午後5時まで

2. 視察内容
 ① 佐賀城公園の整備と歴史館の状況（佐賀市）
 ② 唐津漁港高度衛生管理型市場の整備と課題（唐津市）
 ③ 福岡城址の整備状況（福岡市）

- 3・視察先 佐賀県庁・佐賀城公園・佐賀城本丸歴史館
 唐津市舞鶴公園・唐津漁港市場・福岡市大濠公園

- 4・調査経費 一人当たり 22,386円

 （経費内訳 レンタカー代金・ガソリン代・高速料金・宿泊費）

- 5・調査研究活動の概要

別紙



佐賀城公園の整備と歴史館の状況(佐賀市)

佐賀県佐賀土木事務所田崎茂樹所長

佐賀県佐賀土木事務所街路公園課野口欣也課長

佐賀県立佐賀城本丸歴史館企画学芸課藤井祐介学芸員

- 都市計画決定面積33.3ha 開園区域28.8ha
- 公園内に、県立図書館、県立博物館、県立美術館、市村記念体育館、佐賀城本丸歴史館、佐賀城跡の門などがある
- 佐賀城1602年鍋島直茂・勝茂によって築城、平城、天守台4重
- 平成19年、20年かけて「佐賀城下再生百年構想」を策定
- 孫の世代まで(100年後)まで受け継がれるよう品格ある佐賀城下をめざす、自然区間と歴史、住宅地、公共施設との調和、歴史文化と文教機能を強化する
- 本丸北側をにぎわい拠点、街並み再生
- ハード整備—二の丸広場、レトロ館、東濠の復元、ソフト—祭りとイベント
- さがレトロ館—民間によるカフェレストラン、濠—ホテルとハスの再生への取組
- 鍋島直正公の銅像再建(8m)—募金によって、平成29年3月4日除幕式
- 東濠復元工事—赤石護岸の復元、舟揚げ場の復元
- 昭和58年歴史資料館建設意向表明
- 平成10年佐賀市長→「本丸遺構と一体となった歴史資料館の建設」の要望
- 平成16年8月「佐賀県立佐賀城本丸歴史館」会館
- 佐賀藩35万石、外様大名で8番目の規模
- 本丸歴史館は、十代藩主鍋島直正が1838年に再建した本丸御殿を忠実に復元した日本最大級の木造建築物

唐津漁港高度衛生管理型市場の整備と課題

佐賀県産業労働部流通通商課中西昭成係長

株式会社唐津魚市場常務取締役木下泉氏

—浜田市産業経済部漁港活性化室石田室長・戸津川係長・田中主事

浜田市都市建設部建築住宅課佐古係長・平野技師の5人との合同視察

- 国土交通省平成20年→衛生管理型市場の整備—水産物の国際競争力の強化と力強い産地づくりの推進のため、水産物の流通拠点となる漁港で取り扱われる水産物のうち高度な衛生管理対策の下で出荷される水産物の割合を23%から50%に向上させる目標を表明
- 「唐津港まき網市場」改修整備の状況—ネットを使用した開放型で、床の清潔を保つ、床面の傾斜化とコーティング、セリ城内への車両進入防止構造、鳥糞による汚染の防止、衛生確保のための濾過殺菌海水供給施設の設置、施設洗浄のための十分な海水供給量の確保、営業しながらの工事のため3区画分けて改修、総事業費18億1千6百万円、事業主体—県
- (株)唐津魚市場の年間使用量1500万円、管理委託料年間400万円、水揚げ手数料4.5%、箱代120円、水揚高34億5千万円、水揚量2万3千6百トン
- 設計は実績のある会社に、事業期間平成26年~28年、LED使用
- 高度衛生管理型に改修することにより、安全安心のブランド化を図り、水揚げ量シェアを確保することを目的に改修、以前の唐津漁港汚かった
- 自動選別機3台だが、実質2台稼働、一台につき30人の人員必要、人材確保困難
- 夏場の体感—5度下がる

所感

1・佐賀城公園の整備と歴史館の状況（佐賀市）

浜田市には城山周辺整備事業や資料館建設の計画があるため、その参考にするため佐賀市を行政視察し指導受けました。浜田市の場合、財源の問題や優先順位、維持費の問題等があるにも関わらず提案が拙速であり多くの問題を抱えていましたのでそれらを中心に説明を受けました。佐賀市の場合歴史館の建設や城山整備等については、浜田市とは違い相当の期間をかけて調査、検討がされており大変参考に成りました。特に昭和58年に歴史資料館建設意向が表明されて以来、平成元年に建設予定地の意向表明や埋蔵文化財確認調査、本丸遺構の取り扱いや歴史資料館建設に係る基本方針など綿密な計画がなされ工事に着工し、平成16年まで21年間の歳月をかけ完成しています。それにかかる維持管理費は博物館や美術館等で約9,600万円の経費をかけて運営しているとの事でした。こうした説明を聞き浜田市が建設した場合には、将来的な財政に厳しい状況が生まれるのではないかと感じました。

2・唐津漁港高度衛生管理型市場の整備と課題について

浜田市においても水産庁により浜田地区高度衛生管理基本計画が策定され、平成29年度中には工事に着手する予定となっておりますが、消費者に喜ばれる施設とするためにも議会も他の施設を視察し、この事業に積極的に取り組む姿勢で視察をしました。今回は唐津巻き網市場の改修整備について視察をしました。唐津港巻き網市場を高度衛生管理型に改修する事により、唐津港の水揚量シェアと安全、安心の評価を向上させて、玄海地区水産物のブランド化に力を入れると説明を聞き、既存施設の改修を決断された事は相当財政の面においても検討された状況が伺われ、おおいに参考になりました。

又、今ある施設をできるだけ利用していくとの話でした。主な改修の内容は、床面のコーティングと傾斜化、セリ場内への車両進入防止構造、鳥糞による汚染の防止、衛生確保のための濾過殺菌海水供給施設の設置など、事業主体も浜田と違って県がなっており大いに参考に成りました。浜田の場合事業費は50億円以上かかりますが、唐津の場合既存施設の改修と云う事もあり事業費も18億円余りで、素晴らしい施設に生まれ変わっており感心しました。

3・福岡城址の整備状況（福岡）

説明員もなく城郭内の散策でしたが、黒田官兵衛、長政父子が築城した、日本でも有数の規模を誇る城郭であり、福岡の歴史を語る上では欠かせない貴重な史跡であると云う事を作業員の方に聞かせていただきました。福岡市ではこの貴重な史跡を保存、活用していくために福岡城跡基本計画を策定し福岡城の整備が進められています。又、今後の福岡城整備資金として福岡城整備基金を設置し、市民の皆様が一生懸命努力されており、当日はボランティアの人たちが遺跡発掘のため、汗をかいている姿を目のあたりにし、城によせる思いを切実に感じました。



佐賀県の職員さんから佐賀城公園の整備状況の説明を受ける



佐賀城本丸歴史館の学芸員さんから全体模型を見ながら説明を受ける様子



唐津魚市場のコーティングされた床面を視察



唐津魚市場前での参加メンバーの集合写真



佐賀県議会議事堂1階での参加メンバーの集合写真